

病院から帰ると来月から部屋の寒さしいのと
 ととにかく現状から暖したいのと考えた際、
 今の部屋は体調の~~悪~~カイフクをあげたいと
 思いた。元居たところを~~使~~と使い、
 店の物を処分したイス、ドライヤー、鏡、
 消毒器、カラシター、美谷の器具、ブラシ~~の~~
 毒に~~塗~~り子どとにかかりた、天井にある
 電球、シヤンダリヤもた、その後は物をすて
 るのに大らかだ、瓦の工助かした。

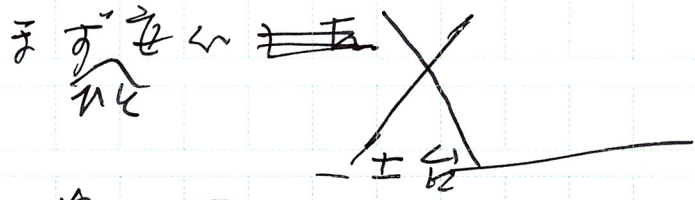
最初は下駄作りた、元居の床をフローリング
 がない床暖房にした。何もなかったころ
 いた。子ガバツトをいこし、2階のイス式にたつ
 ておろし、元居とと居りの部屋の境を~~の~~一す
 とすつた。二階から布をさがしそれをす
 けりた、元居が不自由とはいへ今より若か
 ったのだ。

そいふ手ありをすつた。玄関からトイレの
 前まで各所に至る手すり手すりだ トイレ
 にも手すりをすつた。

次は浴室場 = の~~半~~手すり、湯舟は深いの
 中も

2016年夏、川西側のトイレ、台所と全面浴を「白戸
 リ」全部修理となる。子が現在のモルタルをは
 がし甲の板もはがし、床の出入口の「タタキ」を
 剥き、その裏はコンクリートが2程。とにかく
 新しくして板が出来る。その時水道もその板
 の中に入れこんでみる。それ迄年中は水がな
 やみでたいてい水道の管が壊れてた。と
 も新しくしてこれと外に出るなりと安全な
 床の下の水道管も新しくしてこれる。
 これぞやあやあやと思つた。これが地震に心配
 耐震線強をすこすこに力2。そのころ一般には
 床の下の管がはがし甲の構造を欠きとら
 せり方の跡が、たがそんな事をしたら家の中
 こらでやがやだし、はがし甲の管を張るまで
 此がよくない。そこで外から線強が出来た
 か加藤さんにおかしてあげた。立川の「ダウ
 データ」棟の奥山さんが外からの線強を
 してこれる。震度5強〜6弱は保証するが
 直下型は意味のないこと。家中の板、タタキを
 フローコ2セ 2-1-2 溝とらへ外にうら

し右橋をたつ影、そんな細い棒(ボールペンより少し太いか存)で大丈夫かと思、たが



家のすわり：このビスの橋はテリスだと思
う)がかこんでいる。その二年経果日での地震
がめつた。かなり暑い間やれといちが、これか
後には、たかどうかわからずいかに震度分度く
らいたつたか存。

これで家の修繕は終りと見、この土がすた
り、た。暑い夏をどろのりすまか、
修繕をさしとせたと考へ何となく
通しつよい務めと相存に注意、すまを
おとすといふの要は通しがよくなるように
つくつたといふ、出来たこと、
深)のあつさそして寒さを解ぐしかた、とい
う事、私の部屋を断熱材でかこむ。窓は「パ
ガラス」ガラス「シヤ」のカーテン、東側を断熱
材でおさす「天板」の断熱材の務めをた。
これで少しのおやく存)たかどうかわか

ういぬがやのイキコとは合印や、た、と、う、子、心
感、り、の、一、は、終、り、と、す、る、

東日本の地震以前、予レビの件があり、た、と、
にか、く、従、来、の、予、レ、ビ、が、優、之、宗、と、い、う、の、で、こ
れ、も、加、藤、之、人、に、買、っ、て、来、て、も、ら、う、た、。 電^話話、も
不、知、合、が、あ、り、予、レ、ビ、も、た、。 それ、に、冷、ど、う、庫
が、具、合、が、あ、り、と、な、り、流、通、料、も、と、論、々、電、機、製、品^の
た、め、に、な、り、予、の、方、に、加、藤、之、人、に、置、っ、て、来、て、も
ら、う、た、。 予、る、で、親、戚、の、人、の、称、に、あ、れ、と、い、え、た、に
あ、り、た、。 加、藤、之、人、が、と、う、こ、ざ、い、予、あ、

それ、に、し、て、も、申、し、あ、わ、せ、た、称、に、電、機、製、品、つ
き、ま、わ、ら、く、な、り、た、。 冷、ど、う、庫、を、ど、野、ま、い、室
に、冷、ど、う、の、と、こ、ろ、も、ど、ん、ど、ん、お、い、て、予、た、

でも、これ、で、も、う、買、い、か、え、る、と、い、う、予、の、
家、の、予、一、と、電、機、製、品、の、予、命、ま、ど、又、又、考
慮、この、頃、毎、朝、の、家、を、出、が、予、の、に、若、い、人、が
~~苦~~ 苦、痛、し、て、い、う、と、言、う、。 何、故、感、か、ち、か、う、の
予、何、を、予、て、予、い、か、わ、か、ら、予、い、と、言、う、。 私、は
今、使、用、し、て、い、る、物、以、外、何、も、い、う、予、ない、。 果、然、予
て、ま、う、と、思、い、予、も、予、階、へ、行、き、予、それ、を、予、断、り、予、

